

医療従事者でなくてもできるルールで作成したのが「START(スタート)式トリアージ」です。STARTとは出発のスタートではなく、Simple And Rapid Treatmentの頭文字を取ったもので、直訳すれば「Simple Triage=単純な・簡単な(負傷者の)治療優先順位づけと、Rapid Treatment=迅速な取り扱い方・処置・治療」となります。呼吸、循環、意識レベルの順番で評価し、負傷者を分けていく1次トリアージが「START式トリアージ」です。災害時の初動救助は1分遅れると死者が1人増えるといわれて、初期の素早い確かな対応が求められています。「START式トリアージ」ではまず「呼吸」では無呼吸なら黒、1分間に30回以上の多呼吸は赤、30回未満で呼吸が安定していれば次の「循環」に移ります。爪を圧迫して色調復元まで2秒以上かかれば赤、2秒未満なら「意識」に移ります。「意識」では声掛けなどに応じなければ赤、応じるが歩けなければ黄色、応じて歩ければ緑とトリアージします。

こうしたトリアージの実践を含めた研修を2月18日(土)に浜松市薬剤師会 災害対策委員会の作成した症例20を実際に見て研修した。

<START式トリアージ>

